

## 概要

### 1. 慶應義塾 ITC の目的

慶應義塾 ITC は、義塾に必要な情報基盤を効果的に提供することによって、義塾の教育・研究の発展および義塾の円滑な運営に寄与することを目的としています。

### 2. 慶應義塾 ITC の主な業務

- ・義塾の情報化に関する中長期ビジョンの策定と実施
- ・情報基盤に関連する研究、開発、調査および試験
- ・情報基盤の整備、運用管理および運用規程の整備
- ・教育・研究・経営に関するシステムの開発、運用および維持

## 沿革

|          |                                                                                |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 1969年 4月 | 「情報科学研究所」設立                                                                    |
| 1979年10月 | 「慶應義塾大学計算センター」発足<br>・情報科学研究所より業務部門が分離独立                                        |
| 1993年 4月 | 「メディアネット（メディアセンター）」発足<br>・慶應義塾大学計算センターと研究教育情報センター（図書館）が統合                      |
| 1996年 4月 | 「慶應義塾情報スーパーハイウェイ」構築<br>・義塾の情報インフラの中核をなす高速なコンピュータネットワークを提供                      |
| 1999年 2月 | 「慶應義塾大学 ITC」発足<br>・メディアセンターから情報システムサービス担当が分離独立                                 |
| 2003年 3月 | 「ITC 統合印刷システム」導入<br>・課金タイプのオンデマンド型ネットワークプリントシステムを提供                            |
| 2004年 7月 | 「慶應義塾 ITC」発足<br>・義塾全体の情報基盤の整備・運用、システム化支援の業務を担当<br>・事務部門の情報システム整備・構築担当と統合       |
| 2005年 3月 | 「慶應義塾共通認証システム」運用開始<br>・義塾のシングル・サインオン・システムとして誕生                                 |
| 2010年 9月 | 「ITC システム（ITC アカウント）」提供開始<br>・キャンパス毎に構築されていたコンピュータシステムを統合することにより、利用者のアカウントを一元化 |
| 2014年10月 | 「慶應義塾大学学術認証フェデレーションシステム」運用開始<br>・塾内アカウントによる認証で、学認に対応した外部情報サービスが利用可能            |

### 慶應義塾共通認証システム (keio.jp)

keio.jp は、義塾が提供する各種オンラインサービスを安全かつ便利に利用するための認証システムです。keio.jp を活用することにより、学生・教員・職員を対象としたアプリケーションが利用者の属性に応じて利用可能になっています。

### ITC が提供する主なアプリケーション

|                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| G Suite .....           | 慶應メール・カレンダー・ドライブ等を提供  |
| 授業支援 .....              | 教材・レポート・お知らせ等を授業単位で提供 |
| keiomobile2 .....       | キャンパスにおけるネットワーク接続利用   |
| ソフトウェアライセンス取得システム ..... | 契約ライセンスの配布システム        |
| IT 活用 Web 講座 .....      | ソフトウェア等の学習コンテンツの配信    |
| WebEx .....             | インターネット上のビデオ会議サービス    |
| Box .....               | クラウド型のストレージサービス       |
| ナレッジリバー .....           | e ラーニングシステム           |

## 慶應義塾インフォメーションテクノロジーセンター (ITC)

### ITC 本部

〒108-8345  
東京都港区三田 2-15-45  
<http://www.itc.keio.ac.jp/>



### 三田 ITC

〒108-8345  
東京都港区三田 2-15-45  
<http://www.mita.itc.keio.ac.jp/>



### 日吉 ITC

〒223-8521  
神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1  
<http://www.hc.itc.keio.ac.jp/>



### 信濃町 ITC

〒160-8582  
東京都新宿区信濃町 35  
<http://www.sc.itc.keio.ac.jp/>



### 理工学 ITC

〒223-8522  
神奈川県横浜市港北区日吉 3-14-1  
<http://www.st.itc.keio.ac.jp/>



### 湘南藤沢 ITC

〒252-0882  
神奈川県藤沢市遠藤 5322  
<http://www.sfc.itc.keio.ac.jp/>



### 芝共立 ITC

〒105-8512  
東京都港区芝公園 1-5-30  
<http://www.sk.c.itc.keio.ac.jp/>



# Information Technology Center

## 挨拶

慶應義塾 ITC 所長  
環境情報学部教授

中 村 修

NAKAMURA Osamu



慶應義塾のキャンパス情報基盤は、回線の太さ、無線LANのカバー率、新しいサービスの展開など常に最高の環境を提供してきている。また利用者を制限したり、利用できるサービスを限定したりするなど、往々にして陥りがちな、事なかれ主義の安易な運用に流れることなく、慶應義塾では、自由な研究環境、学生の新しい発想を邪魔することのないオープンな情報基盤の提供を基本的なポリシーとして、今まで運用をおこなってきた。

今、サイバーセキュリティという新しい課題に対して、世の中の多くの組織が、より厳しい管理運用を指向している。この流れは、大学でも然りである。しかし、ここでもう一度、未来の情報空間のあり方を想像して欲しい。安心・安全な世界とは、誰かに管理・統制された世界であるとは、私は思わない。その空間で生活しているすべての人のモラルの高さと、それを支えるシステムがあって、初めて安心安全な世界が実現できる。慶應義塾の情報空間の利用者である塾生・教職員そしてITCの職員及び関連各位と共に、真に安心・安全な情報空間の構築という一大プロジェクトを推進し、未来の情報空間を先導していきたい。

## サービス

### コンピュータとネットワーク

#### ITCアカウントとSFC-CNSアカウント

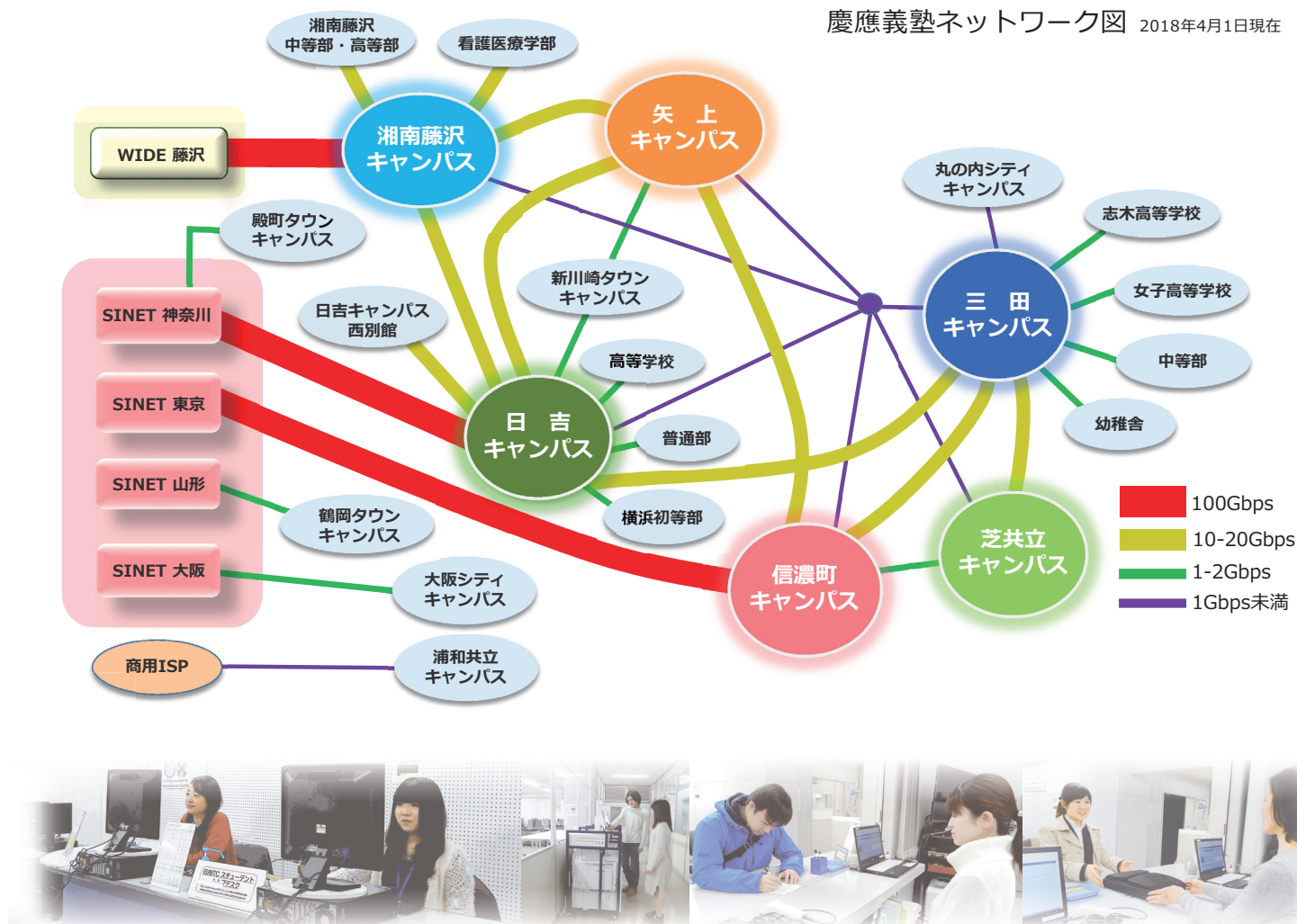
ITCアカウントを使用して、各キャンパスに設置されたパソコン・プリンタ・ネットワーク等を利用することができます。なお、湘南藤沢キャンパスではSFC-CNSアカウントを使用します。

#### 統合印刷システム

各キャンパスに設置されたパソコンまたは自宅のパソコンから印刷要求を行い、各キャンパスに設置された任意のプリンタで印刷することができます。印刷する際は、交通系ICカードを使用して精算します。

#### ネットワーク接続

塾内では有線LAN接続と無線LAN (Wi-Fi) 接続のサービスを利用することができます。また、eduroam (国際的な無線LANローミングサービス) を利用することも可能です。



### ソフトウェアと学認システム

#### ソフトウェア

慶應義塾では教育・研究活動の発展のため、オフィス製品、画像編集ソフトウェア、数式処理ソフトウェア、統計解析ソフトウェア、剽窃防止ソフトウェア、OS等様々なソフトウェアについてサイトライセンスを契約し、学生や教職員に提供しています。

#### 学認システム

慶應義塾大学の学術認証フェデレーション (学認) システムでは、塾内アカウントを使用してログインすることで、学認に対応したサービスを利用することができます。電子ジャーナル、eラーニングシステム、ファイル共有システム、ソフトウェア開発ツール等多様なサービスが提供されています。

### 利用者支援

#### ヘルプデスク

ITCが提供しているサービスに関しては、各種利用マニュアルを整備することはもとより、学生や教職員の利用相談窓口を設置して利用者の問題解決にあたっています。

#### 貸出パソコン

三田、日吉、信濃町、湘南藤沢の各キャンパスでは、学生にノートパソコンの貸出を行っています。貸出パソコンでは、慶應義塾が契約している各種ソフトウェアの利用ができます。

#### 広報活動

ITCは情報環境の整備に関する広報のみならず、情報セキュリティや著作権保護に関する広報にも積極的に取り組んでおり、毎年新入生や新任教職員を対象の中心にすえて活動しています。